

JAPAN ACADEMY OF COSMETIC DENTISTRY

歯科漂白

The JOURNAL of

The Official Journal of
The Japan Academy of Cosmetic Dentistry
An Affiliate of the ASDA



Cosmetic Whitening

Vol. **3**
2005

あなたの小学生のときのポジションは？

Old boys'

瀬戸内海の島で小学・中学・高校をともに過ごした幼馴染4人が20数年ぶりに盃を交わした。最初はお互い今のポジションを探り合うが、酒も進むと想い出話に酔いしれだす。高校を出てからはそれぞれ生活の場が違うので、懐かしい面子や恩師の消息話は尽きない。やがて女子の話になるとお互い30年前の心の葛藤が見え隠れしはじめ、そのうち告白大会になっていく。30年後に知る真実はもはや小説のようなものである。

無邪気に笑えるのはやはり小学生の時の話題である。次から次へと走馬灯のように想い出が頭をよぎり、それを口に出さずにはいられず、爆笑の嵐は収まることなく延々と続く。

Decision-making

人は意思決定の連鎖で人生を切り開いているといえる。どこか似かよったパターンの意思決定の連鎖はやがてある種の職業にたどりつく。何らかの影響を受けながらさらに繰り返すことにより、またあるパターンの連鎖が浮き彫りになる。やがて職種を超えてそれを繰り返していくと、意思決定のパターンの似たもの同士が全く違うことをやっていることに気づいたりする。そんな時、人は運命を感じたり、昨今ではDNAを感じたりもする。

意思決定に先立つのはやはり好奇心である。興味を抱くこと自体、何らかの影響が遺伝子に左右されているような気がする。まるで自分ともう一人の自分と二人三脚で歩んでいるかのように。

Innocent

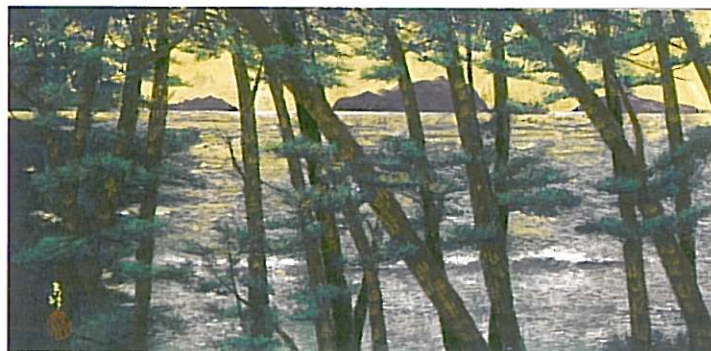
リシャル・コラス氏ひきいるシャネルやデューク更家氏自身の人気は今や頂点を極めている。現在の地位にたどり着いた二人の人となりには共通しているのは屈託のない幼少期のままの無邪気な好奇心である。コラス氏ひきいる“シャネル”も“デューク更家”というブランドも圧倒的な女性の人気を集めている。二人の屈託のない無邪気な好奇心とその意思決定の連鎖が母性本能をくすぐっているかのように。

Position

4人の幼馴染との小宴は、小学生の時と今のポジションが誰一人変わっていないことを気づかせてくれた。かつてのガキ大将は富士通の部長としていまだにガキ大将振りを発揮していた。一步控えめなチャレンジャーは今もひそかに新しい人生にチャレンジをしていた。朝から晩までべちゃくちゃしゃべりながらみんなの興味をひいていたため少年はブルデューン生命のトップセールスマンとなり、今でも朝から晩までプレゼンテーションをまめにこなしている。

この日を境に私の従業員採用時の面接はこの質問しかなかった。
「あなたの小学生のときのポジションを聞かせてください。」

Editor 中原悦夫



さつき松原

THE JOURNAL OF COSMETIC WHITENING

第3巻第1号 平成17年2月1日発行

発行人 松尾 通

編集人 中原 悦夫

発行所 日本歯科漂白研究会

〒150-0046 東京都渋谷区松濤1-29-24-304

電話・FAX 03-3462-5720

レイアウト：石塚 洋子

印刷：よしみ工業株式会社